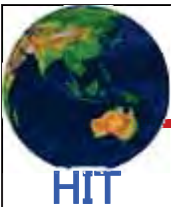


地球観測衛星技術の防災分野における 実利用化に向けて

広島工業大学 環境学部 地球環境学科
教授 菅 雄三

内閣府宇宙戦略室主催「宇宙政策セミナー」2013年10月29日：広島市



文部科学省学術フロンティア推進拠点 広島工業大学 高度地球環境情報研究センター

地球観測衛星



Information
to
Intelligence

時空間的付加価値を高めた
地球観測衛星情報の生成

JAXA

センチネルアジア
国際災害チャーター

広島工業大学
地球観測ステーション



13m 汎用型衛星受信装置



センチネルアジア (出展: JAXA防災利用システム室)

緊急観測へ参加する地球観測衛星



国際災害チャータとの連携(緊急観測要求のエスカレーション)

HIT

ISRO/インド

RESOURCESAT, OCEANSAT-2 OCM, IMS-1, CARTOSAT-1&2, RISAT-1

GISTDA/タイ



IRS

LISS-4: 5.8m Pan
LISS-3: 23.5m Multi
AWiFS: 56m Multi

センチネルアジア コンステレーション

NARL/台湾

CRISP/シンガポール

PAN: 2m
MS: 8m

FORMOSAT-2

MS: 10m XSAT

JAXA/日本 ALOS-2



ALOS

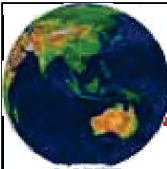
PRISM: 2.5m Pan
AVNIR-1: 10m Multi
PALSAR: 10-100m L-Band

KARI/韓国

KOMPSAT-1



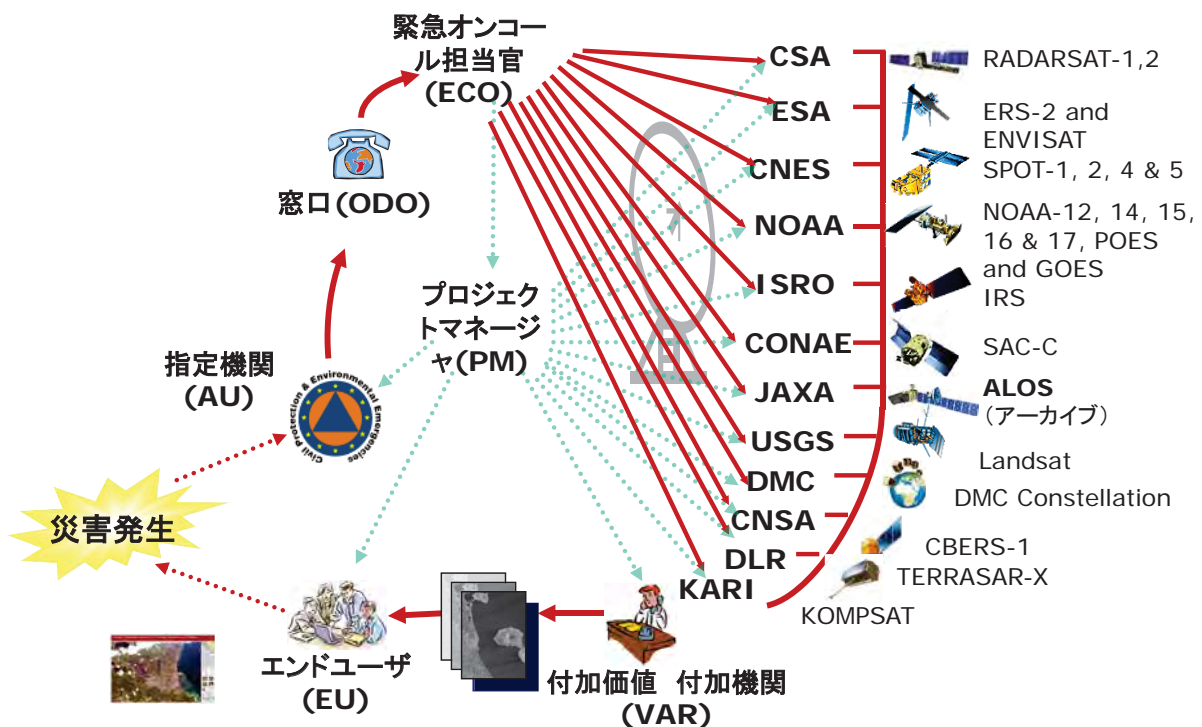
EOC: 6.6m
OSMI: 1km

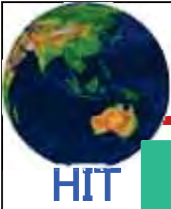


国際災害チャータ (出展: JAXA防災利用システム室)

運用フロー・衛星等

HIT





研究目的

- ・ ①長期継続的な地球観測衛星技術による時空間画像情報に関する生成・蓄積・検索・分析システムの開発を行う。これにより、防災・減災ならび環境保全のための包括的な災害・環境危機管理システムの研究開発を実施し、「安全で快適な国民生活」への社会的貢献を目指す。



研究目的

- ・ ②本学を研究拠点として、「地球観測衛星情報および防災・環境GISシステムの高度化ならびに実用化研究」を展開する。併せて、当該研究分野における我が国および東アジア地域の研究拠点として寄与することを目指す。